

2018年度 卒業時アンケート

はじめに

2018年度より九州ルーテル学院大学では、その年度に卒業する学生に対してアンケート調査を実施する。卒業する学生への教育の効果と成果および、学生支援の満足度を把握し、本学の教育および学生支援を点検・改善することを目的とする。

調査について

【調査対象者】2018年度卒業生 182名（内訳:人文学科キャリア・イングリッシュ専攻 38名、人文学科こども専攻保育コース 32名、人文学科こども専攻児童教育コース 13名、心理臨床学科 99名）。

【回答者数】 合計 170名、回収率は全体で約 93.4%（内訳:人文学科キャリア・イングリッシュ専攻 35名、人文学科こども専攻保育コース 30名、人文学科こども専攻児童教育コース 13名、心理臨床学科 92名）。

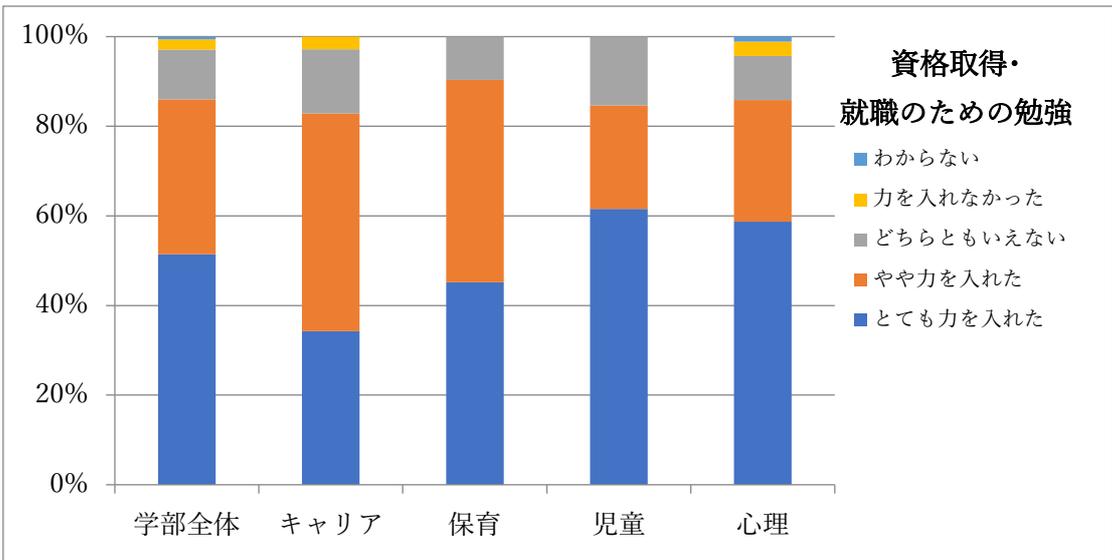
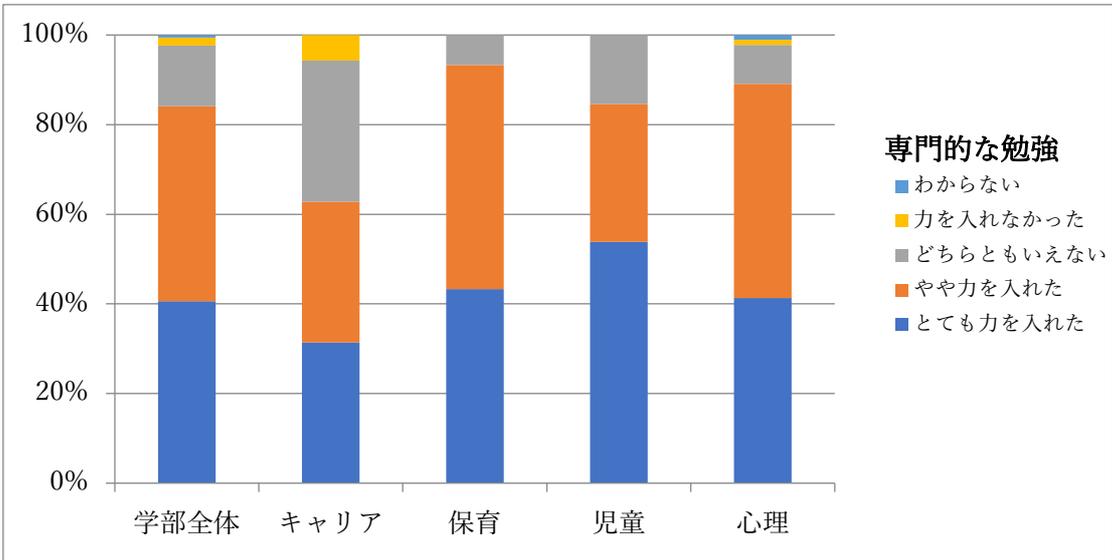
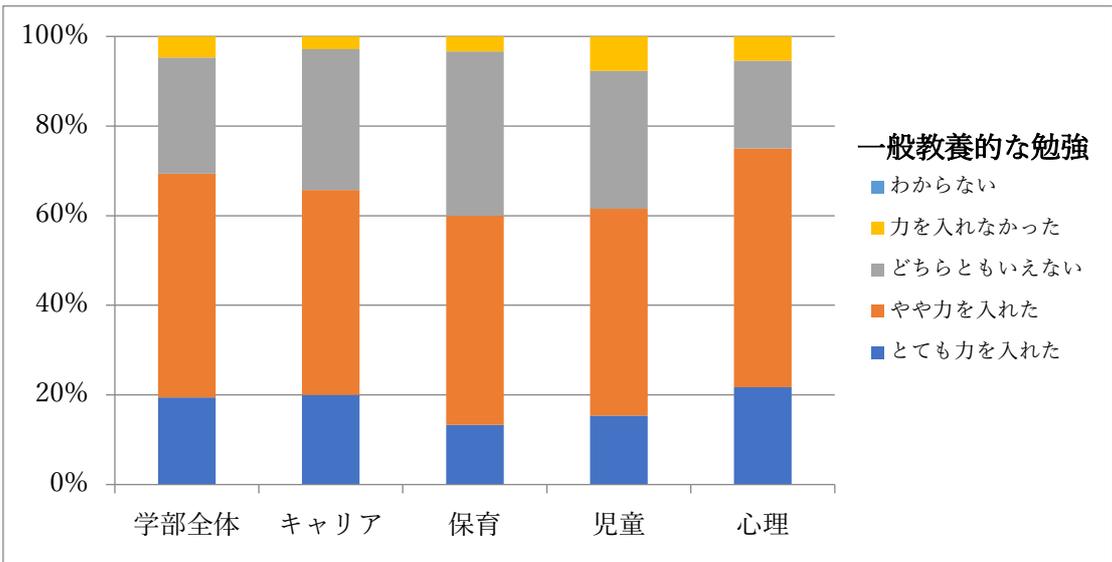
【調査時期】2019年3月

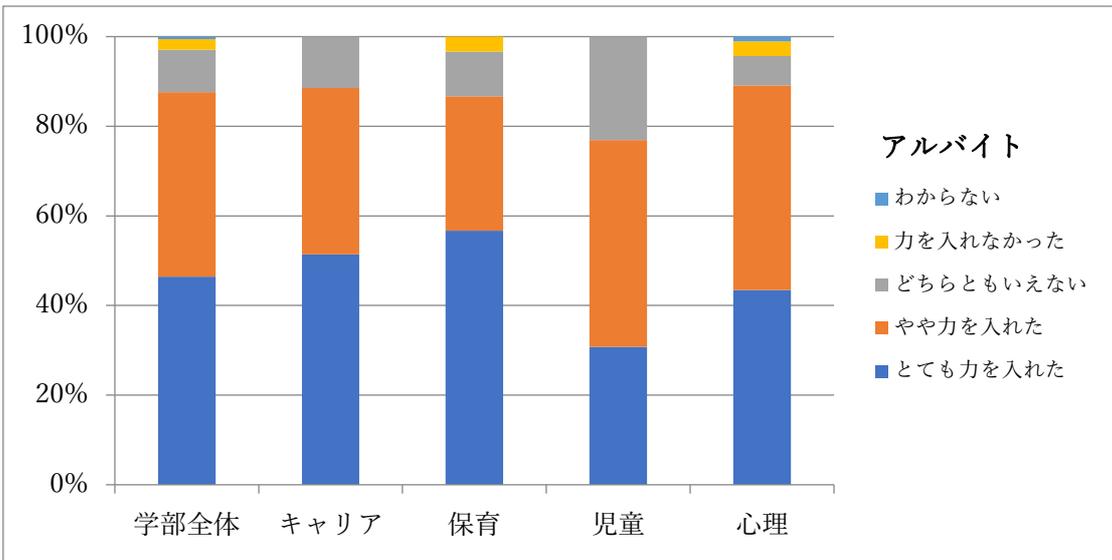
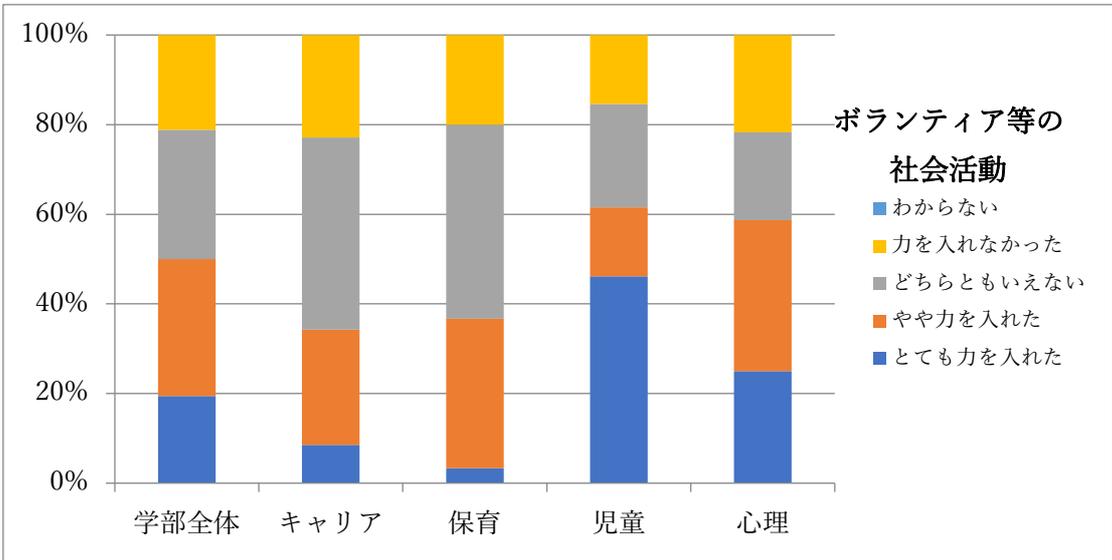
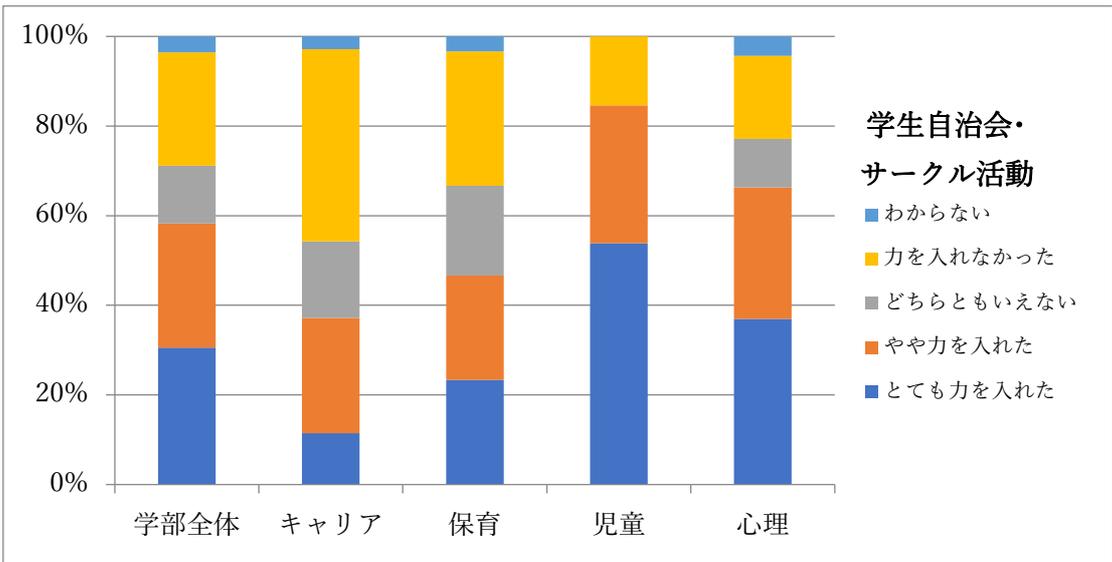
【調査方法】学部全体に同じ内容のアンケートを実施し、卒業時グループ別オリエンテーションの際に配付、回収を行った。

【分析方法】回答データを基本集計として、学部全体、学科・専攻・コースごとに、各項目の回答が値全体に占める割合について比較した。

在学中に注力したこと

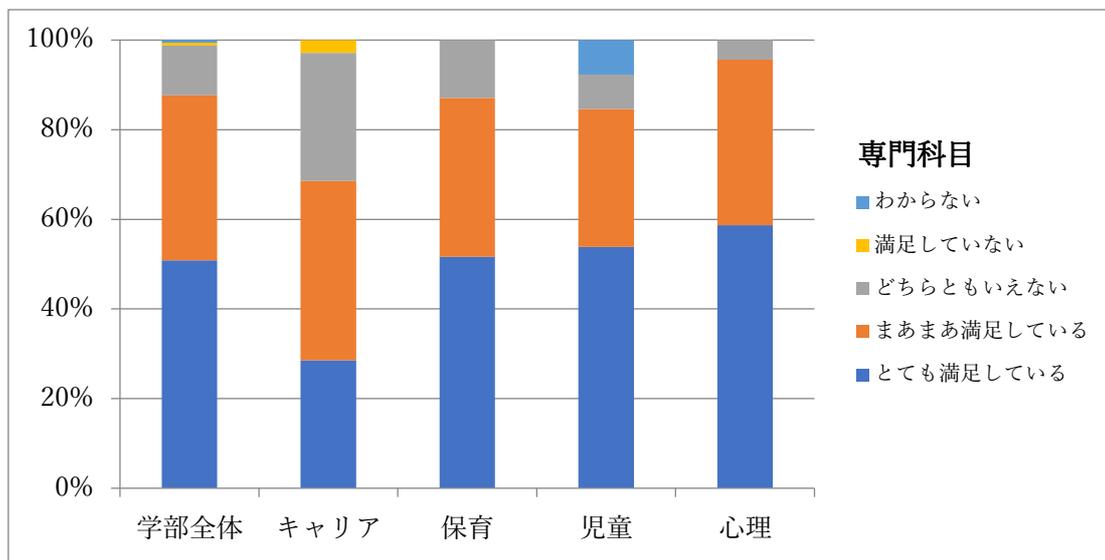
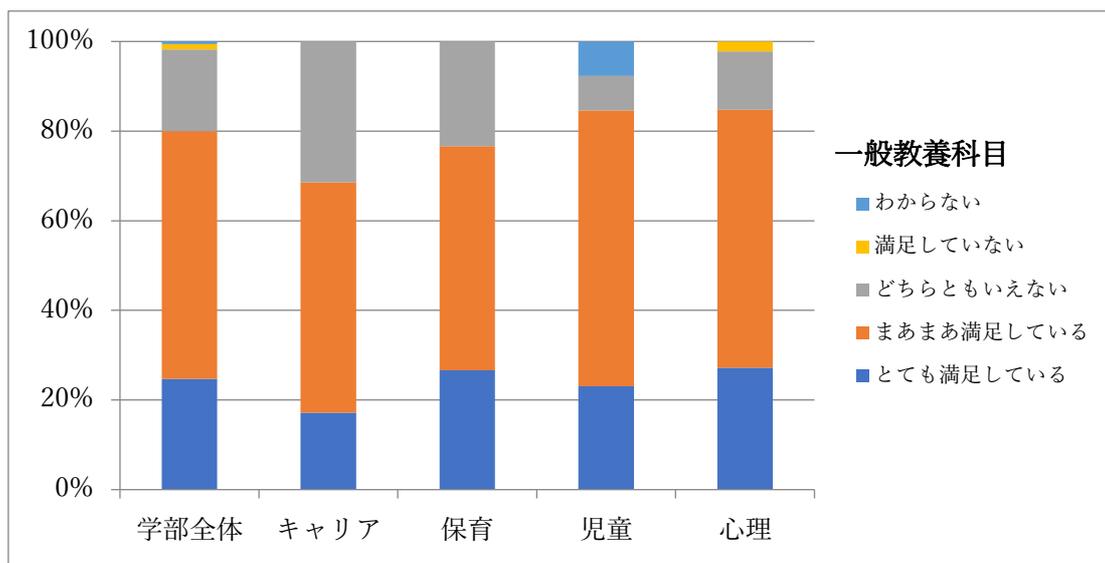
在学中に各項目（①一般教養的な勉強、②専門的な勉強、③資格取得・就職のための勉強、④学生自治会・サークル活動、⑤ボランティア等の社会活動、⑥アルバイト）について学生自身がどれくらい注力したかを尋ねた。学部全体をみると、ほとんどの項目で、学生の半数以上が注力したと回答が得られたが、「学生自治会・サークル活動」、「ボランティア等の社会活動」の項目では、「どちらともいえない」、「力を入れなかった」と回答をした学生が多くいた。また児童教育コースおよび心理臨床学科では、学部全体と比較して、「ボランティア等の社会活動」において注力したと答えた学生が多かった。

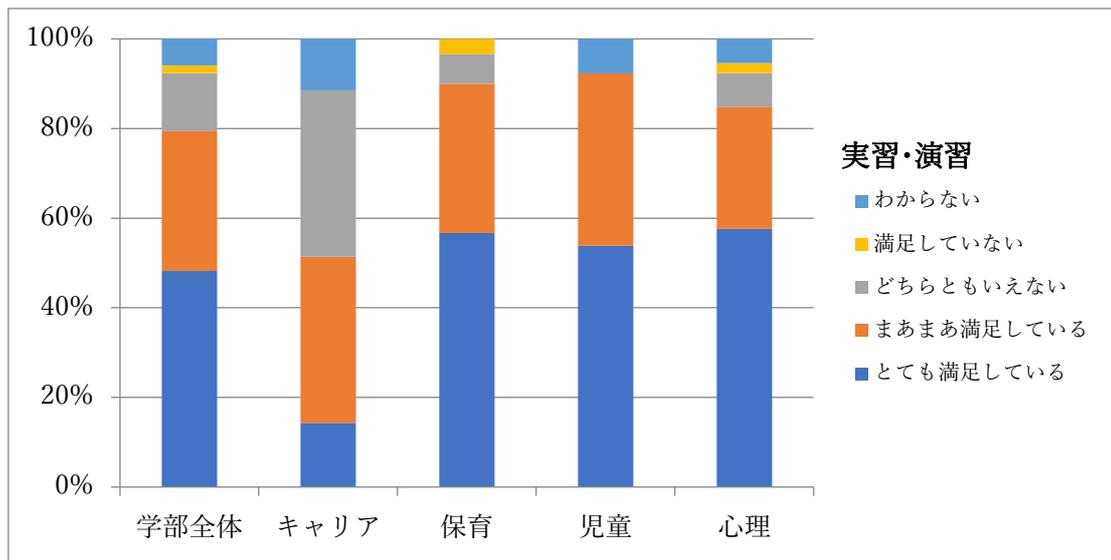
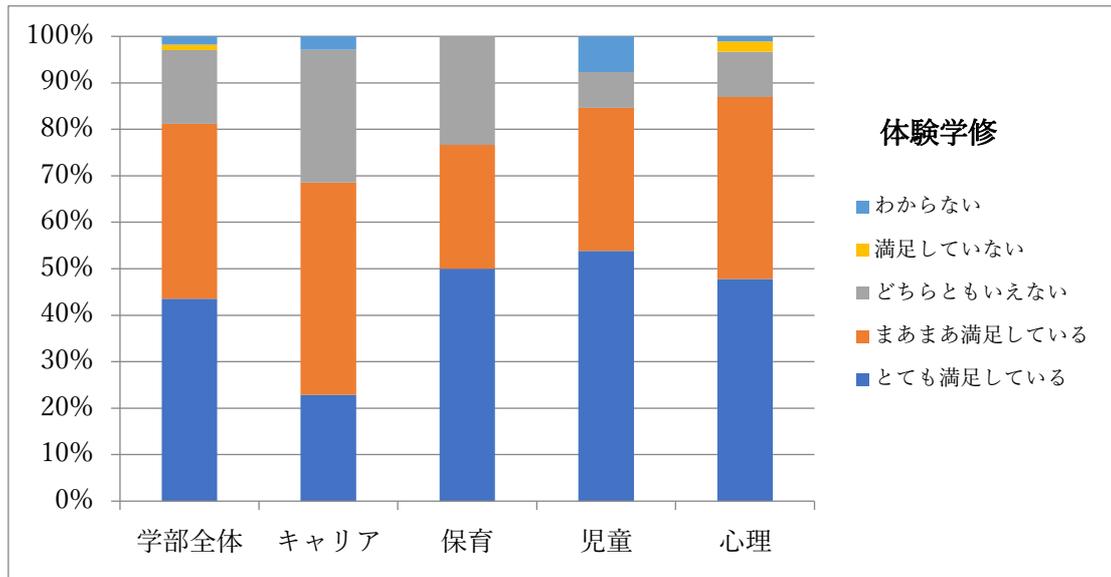




教育内容への満足度

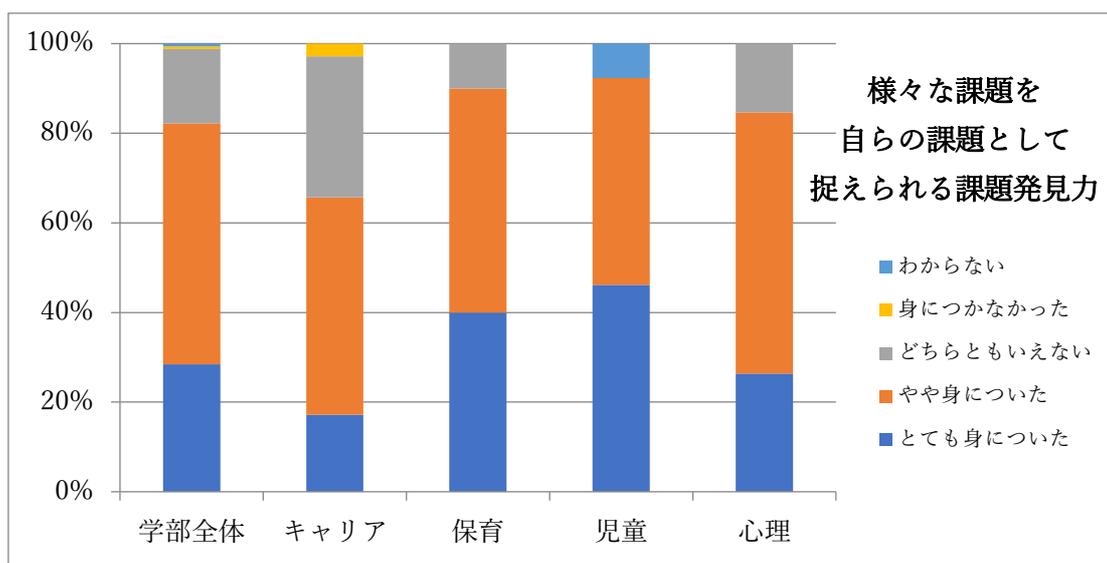
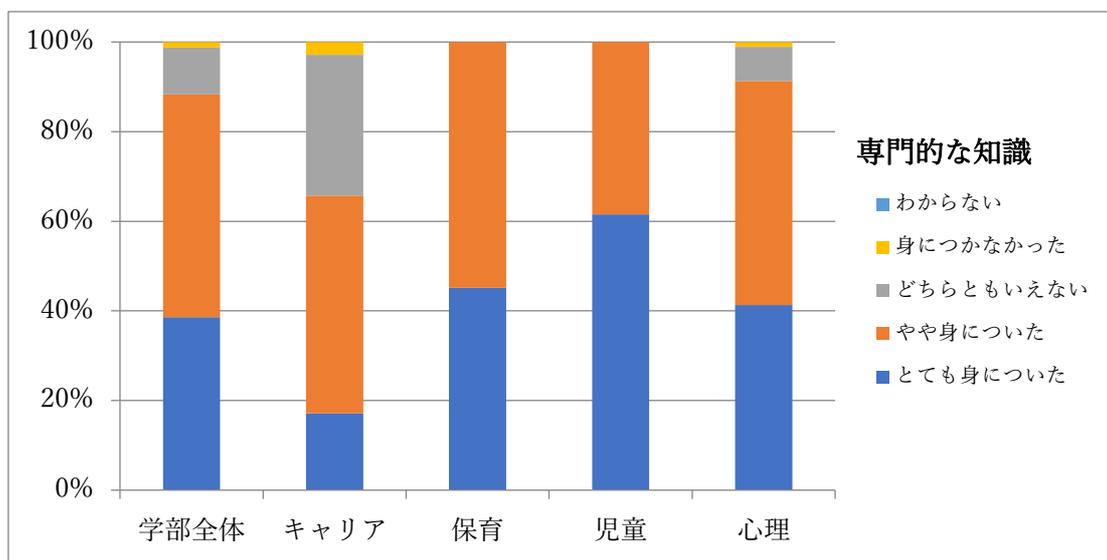
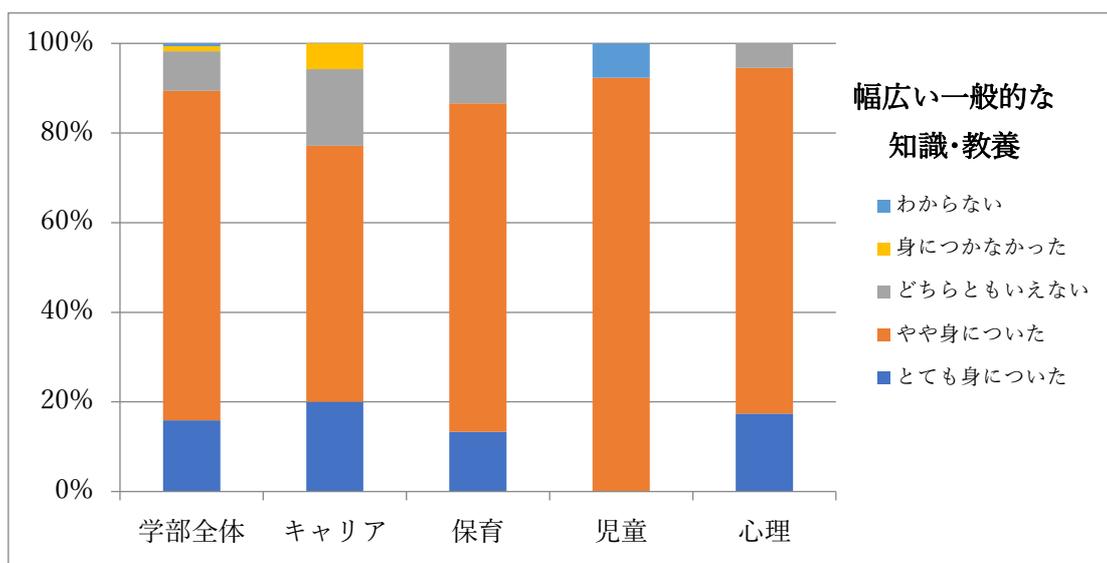
教育内容に関する各項目（①一般教養科目、②専門科目、③体験学修、④実習・演習）について、学生自身がどれくらい満足しているかを尋ねた。どの項目についても8割程度の満足度を学生に得ている結果となったが、「どちらともいえない」、「満足していない」と回答があった学科・専攻・コースもあった。また「わからない」という回答もあり、履修した科目の位置づけ等をより詳しく説明を行う必要がある。

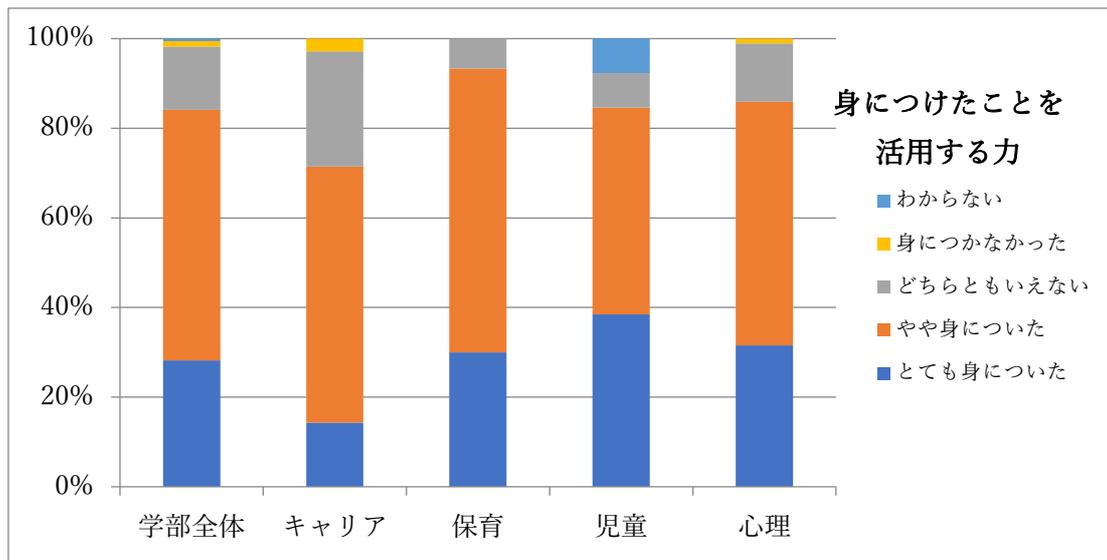
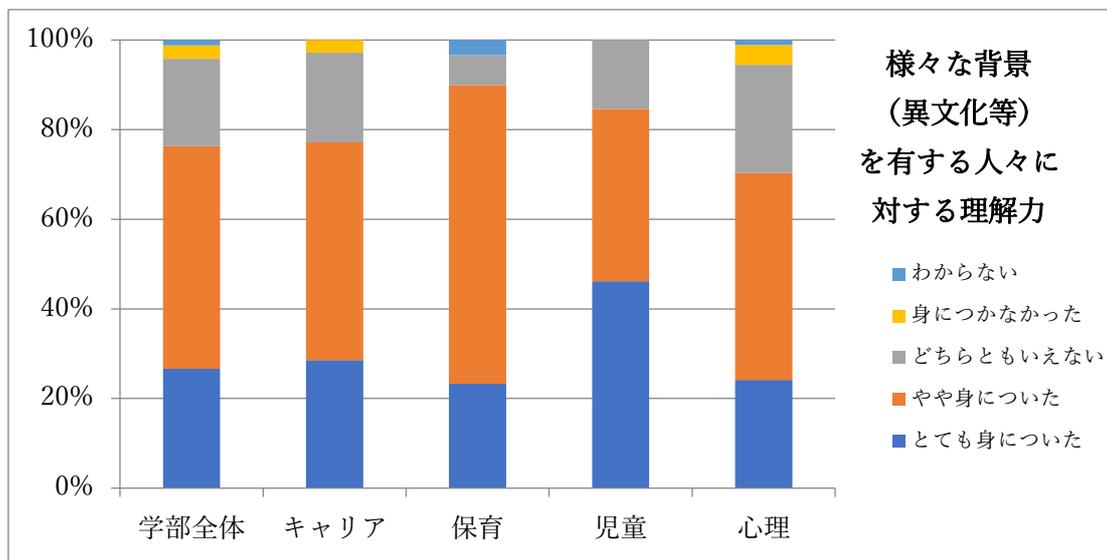
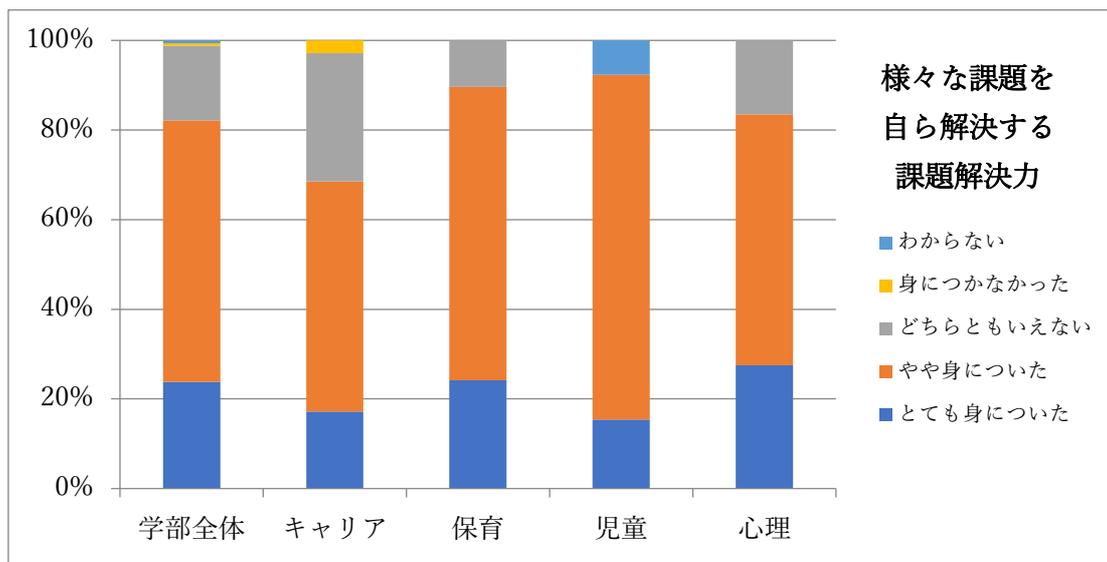


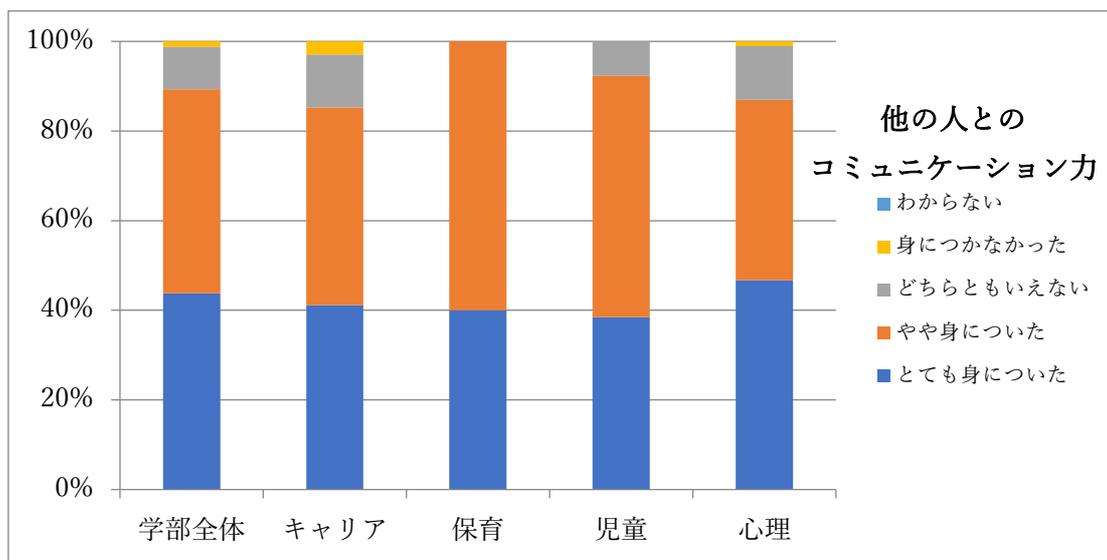


知識・教養について

在学中に各項目（①幅広い一般的な知識・教養、②専門的な知識、③様々な課題を自らの課題として捉えられる課題発見力、④様々な課題を自ら解決する課題解決力、⑤様々な背景（異文化等）を有する人々に対する理解力、⑥身につけたことを活用する力、⑦他の人とのコミュニケーション力）について、学生自身に自己評価してもらった。また、項目以外でも身についたと思う能力について記述してもらった。各項目については大半の学生が身についたとする結果であった。また、以外の能力として「プレゼンテーション能力」「チャレンジ精神」「行動力」「共感力」「傾聴力」などがあげられた。

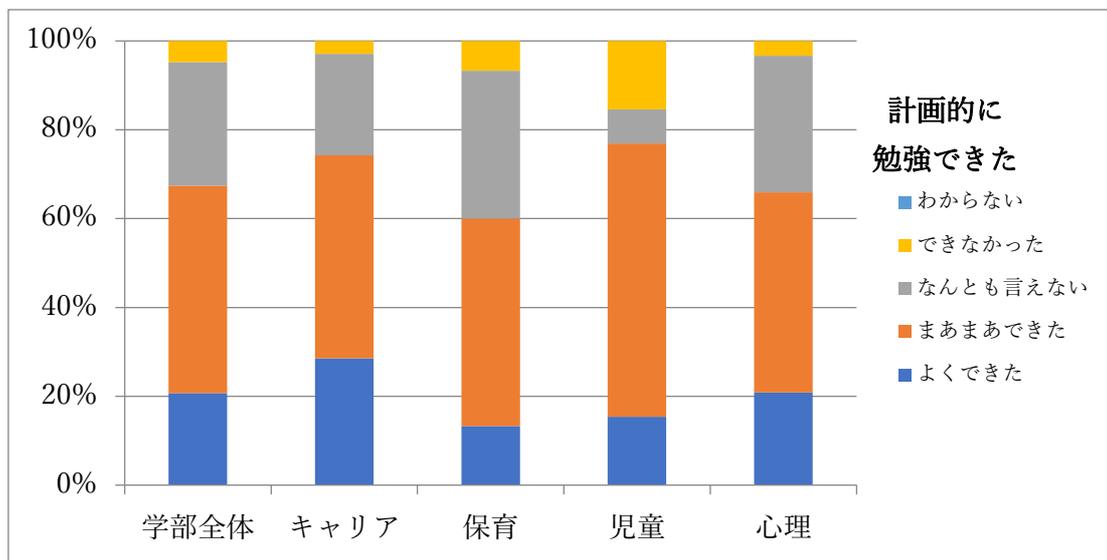


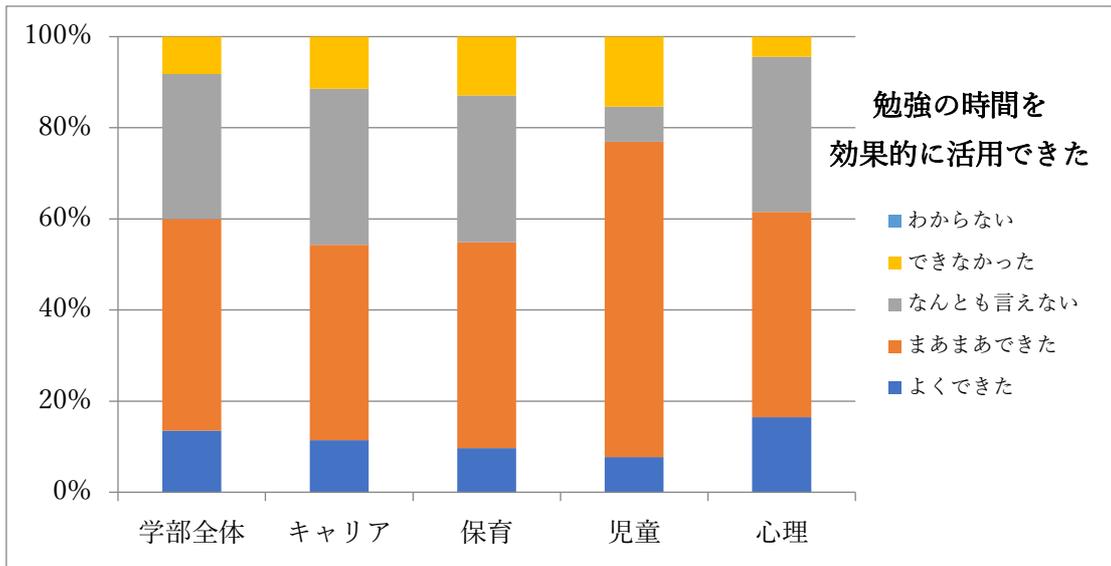
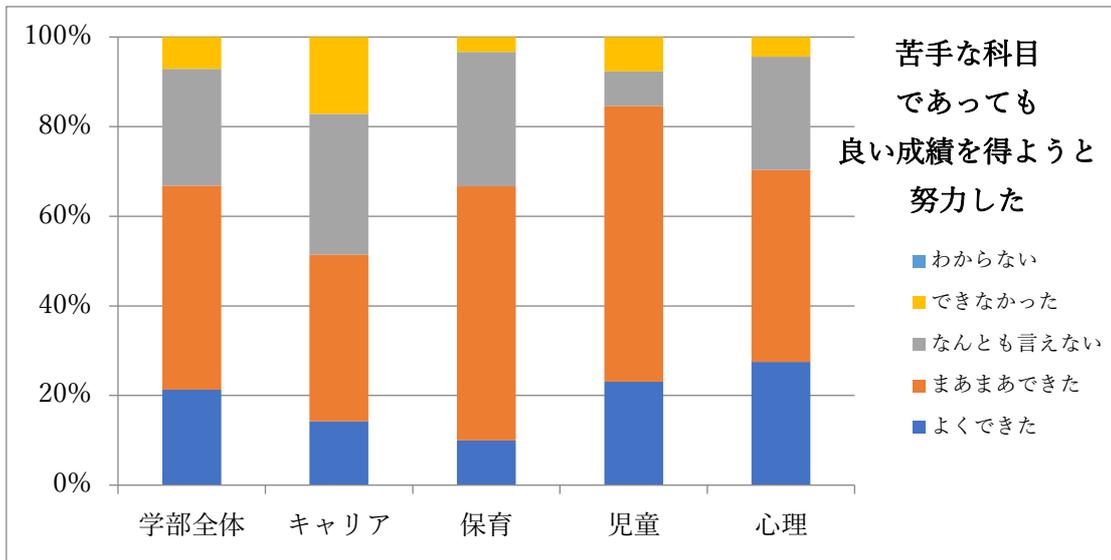
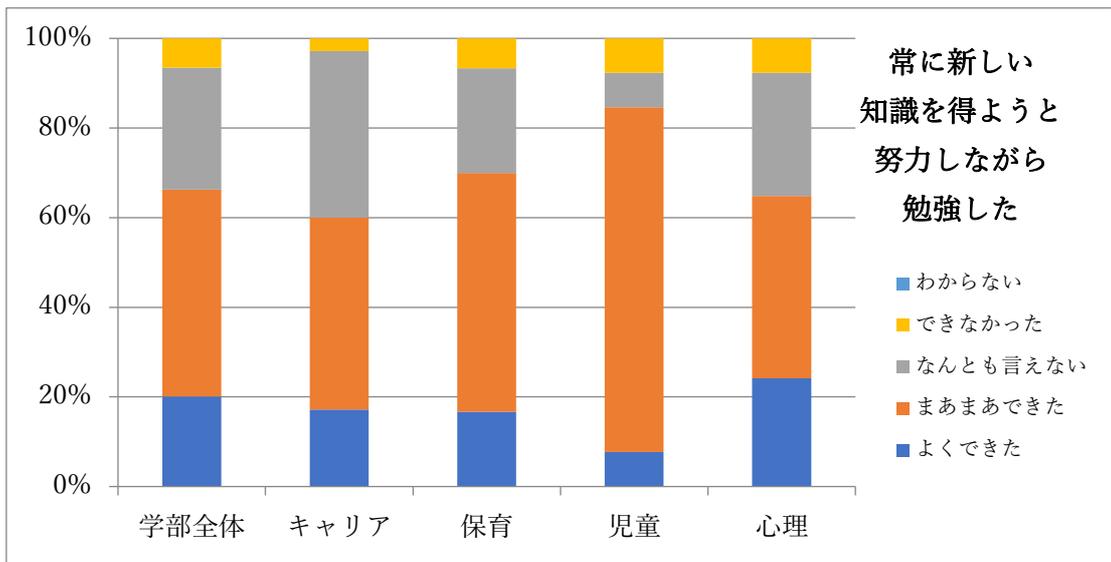




学修への取り組み状況

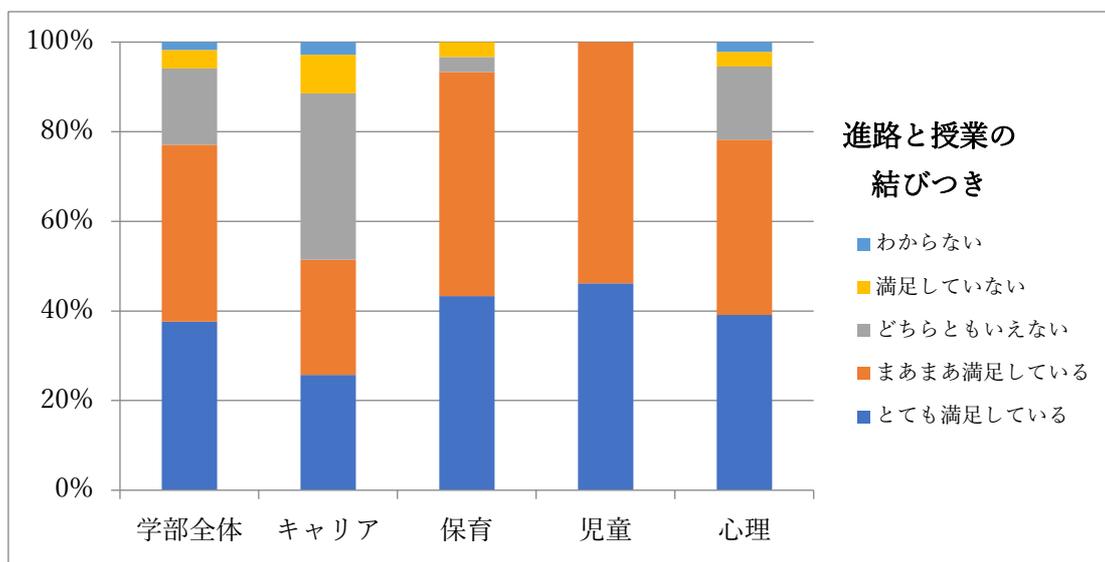
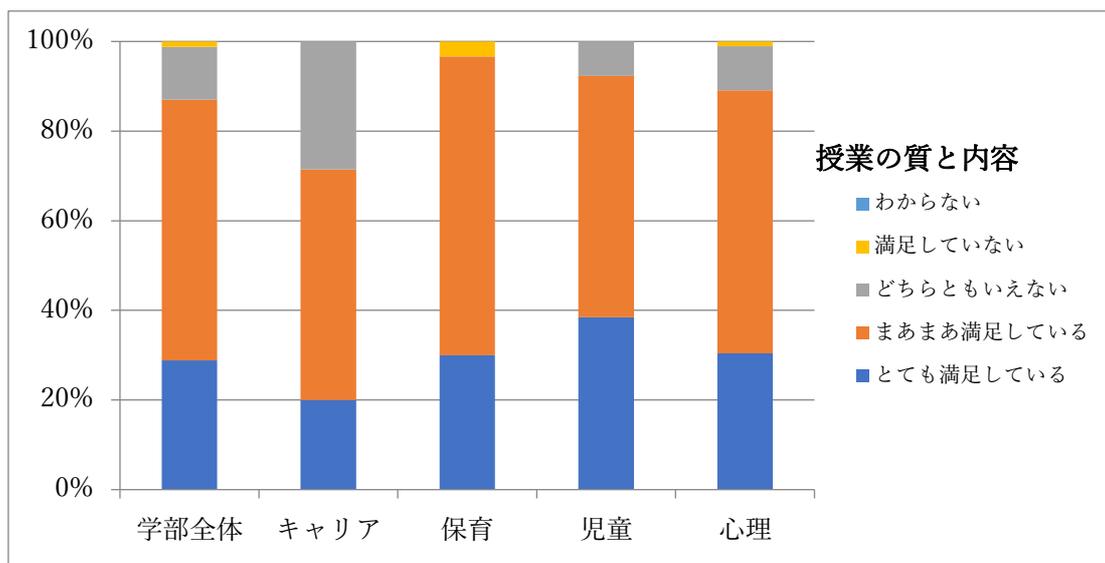
学修への取り組みの各項目（①計画的に勉強できた、②常に新しい知識を得ようと努力しながら勉強した、③苦手な科目であっても良い成績を得ようと努力した、④勉強の時間を効果的に活用できた）に対して、実行度合を尋ねた。学修に対しては、できたと答える学生が多くいる中、こども専攻では、「勉強の時間を効果的に活用できた」という項目に対して「できなかった」と回答する学生が多々いた。

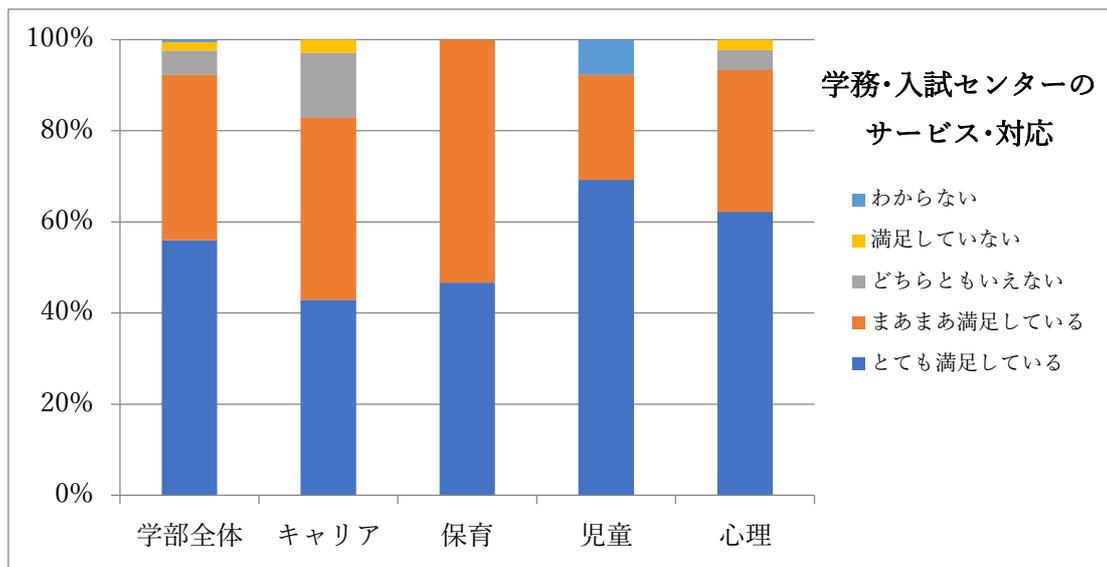
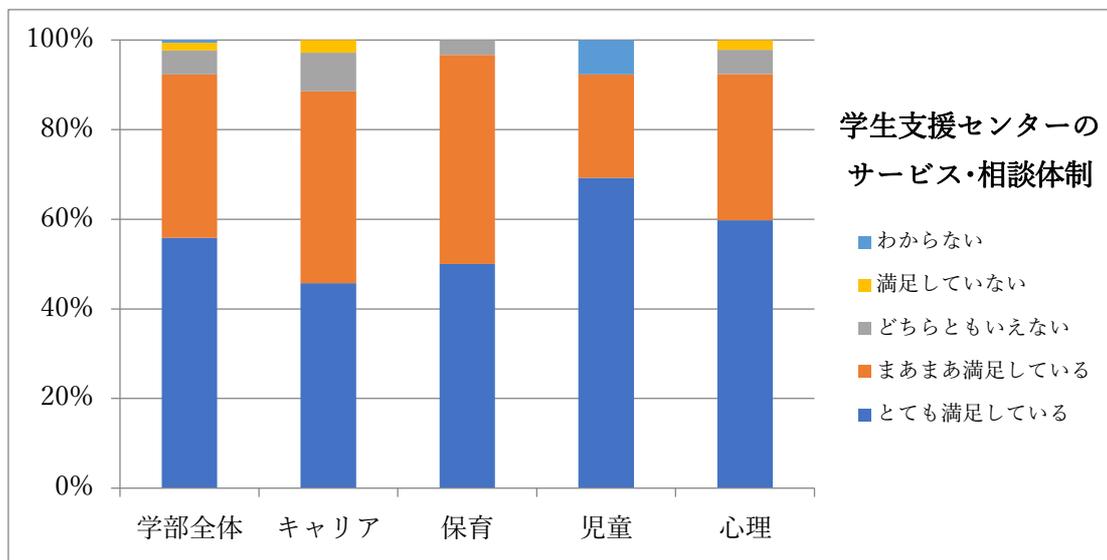
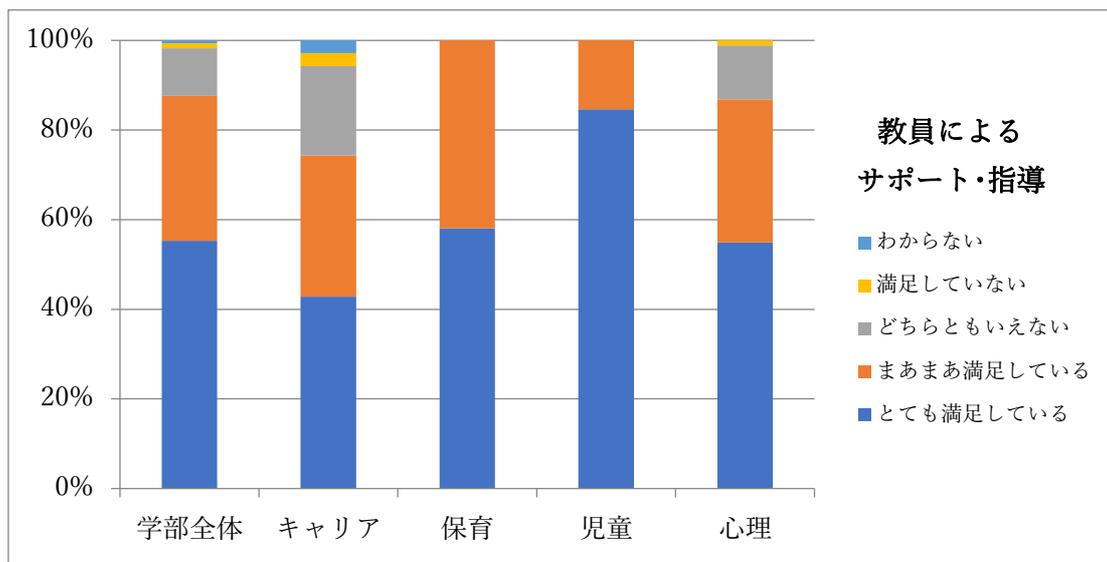




教育支援・生活支援の体制

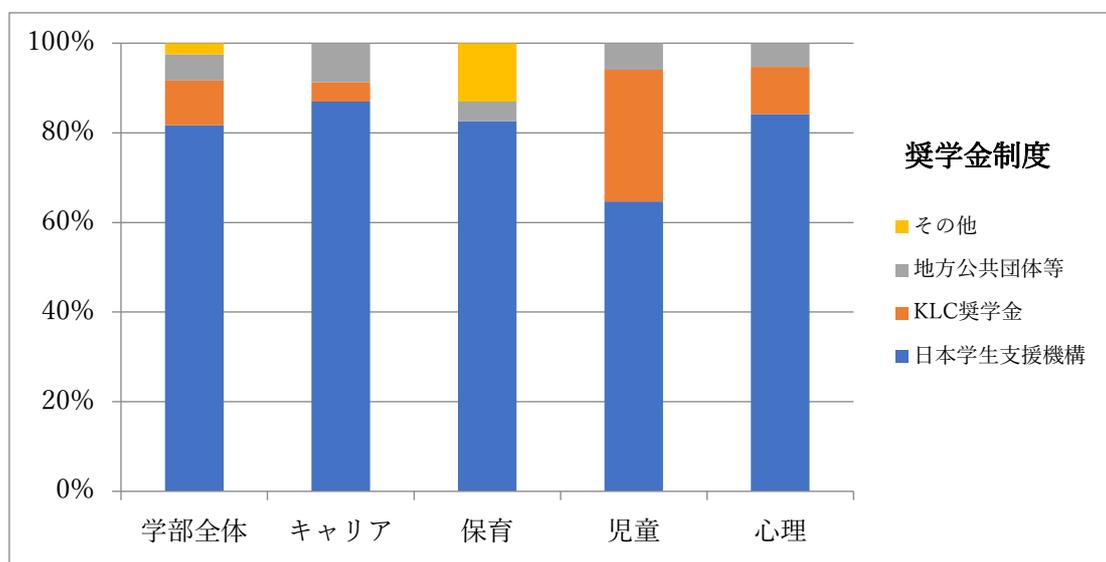
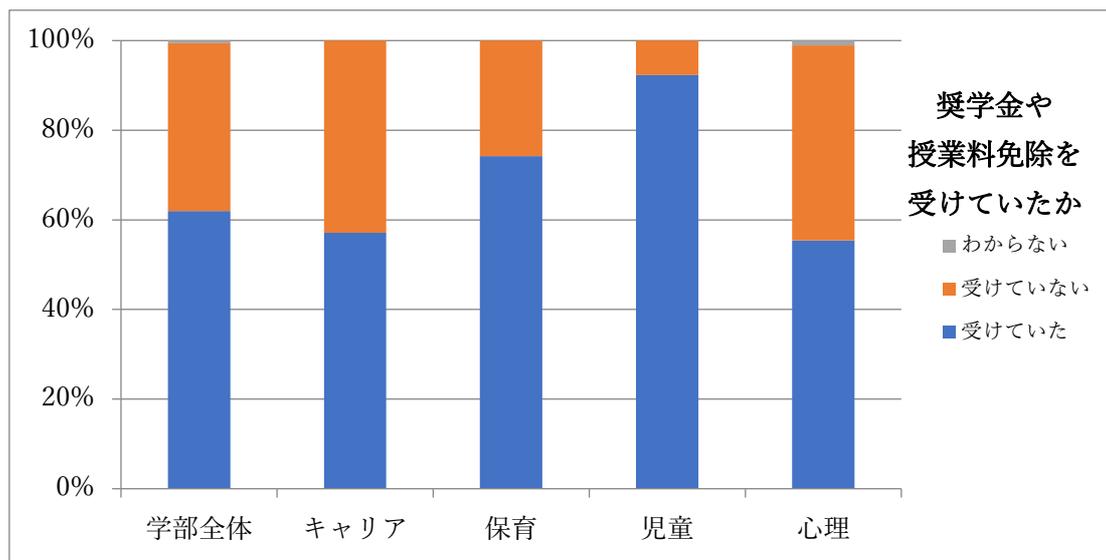
教育支援・生活支援体制の各項目（①授業の質と内容、②進路と授業の結びつき、③教員によるサポート・指導、④学生支援センターのサービス・相談体制、⑤学務・入試センターのサービス・対応）について満足度を尋ねました。おおむね満足感が得られている。またその他、必要だったと思う支援として「留学制度の充実」、「就職のための講義」などがあげられた。





奨学金・授業料免除制度

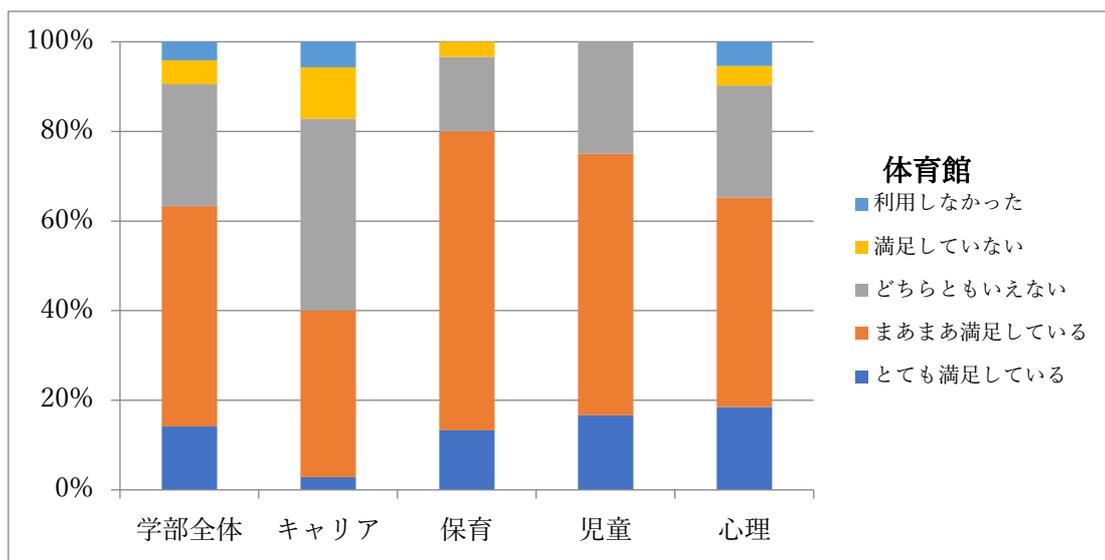
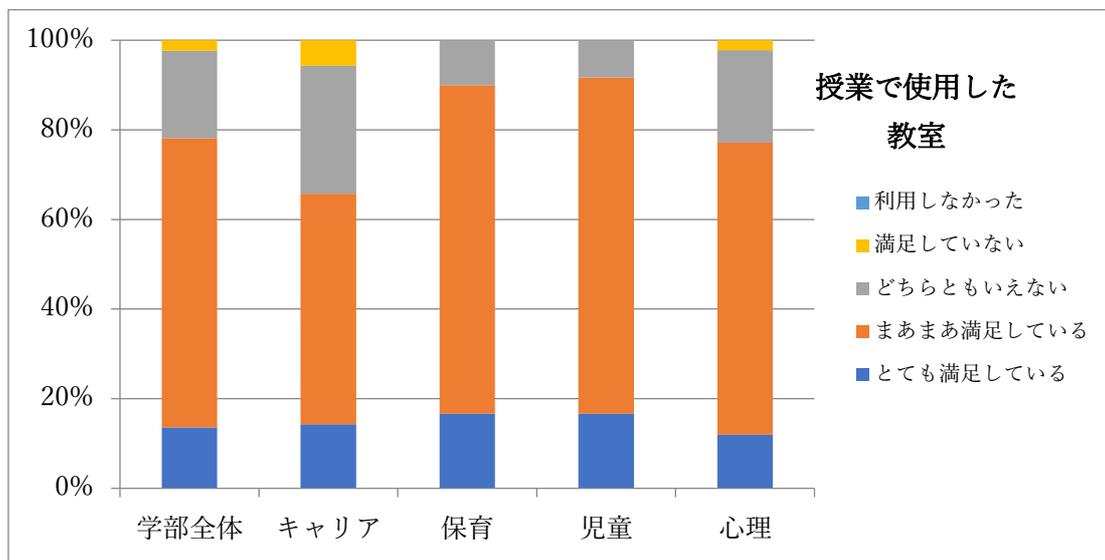
在学中に奨学金や授業料免除制度を受けていたか、また受けていた場合どの奨学金かを尋ねた。半数以上の学生が奨学金や授業料免除制度を受けており、多くの学生が日本学生支援機構の奨学金を受けていた。また、いくつかの奨学金制度を併用している学生も多々見受けられた。

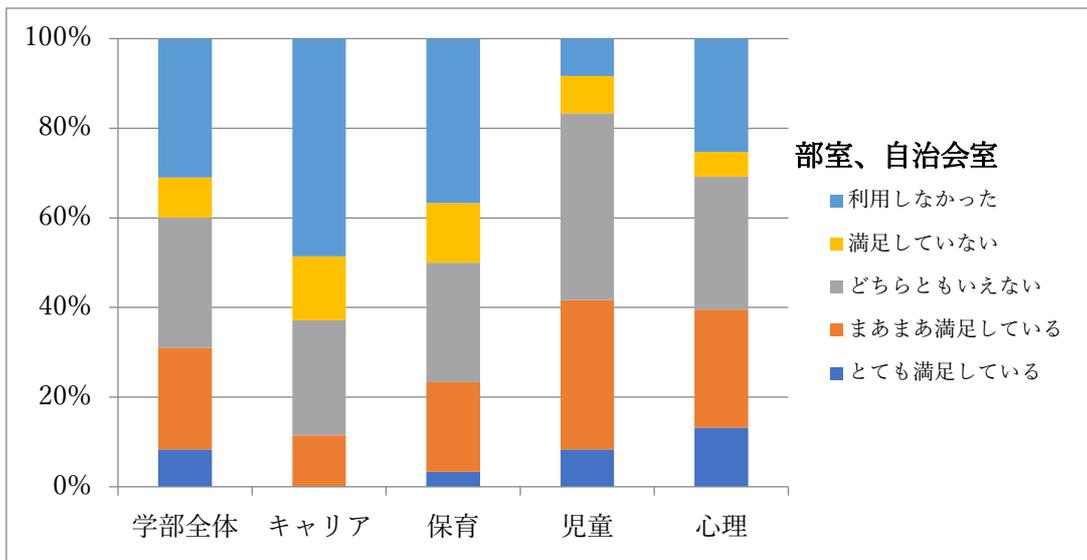
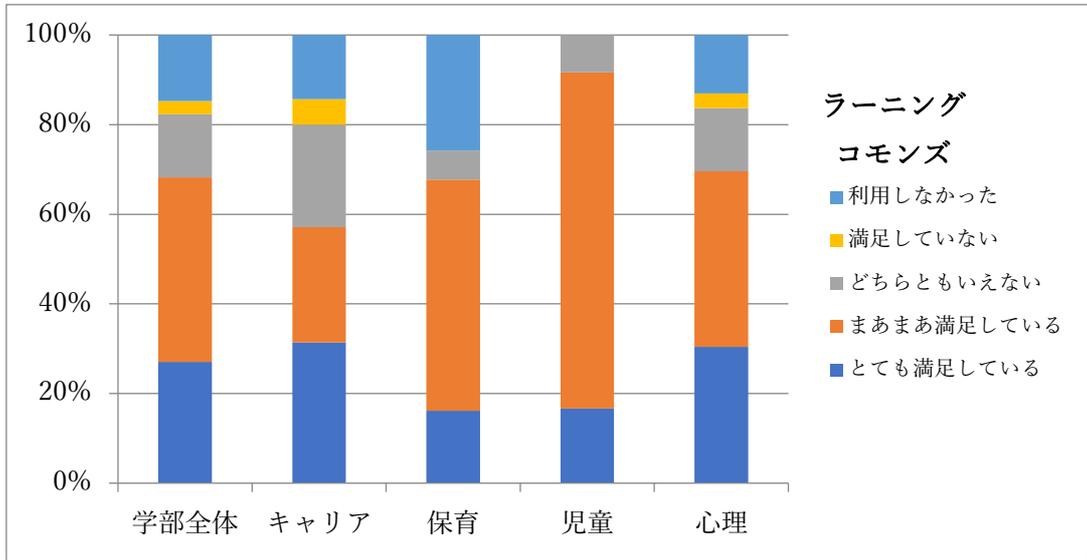
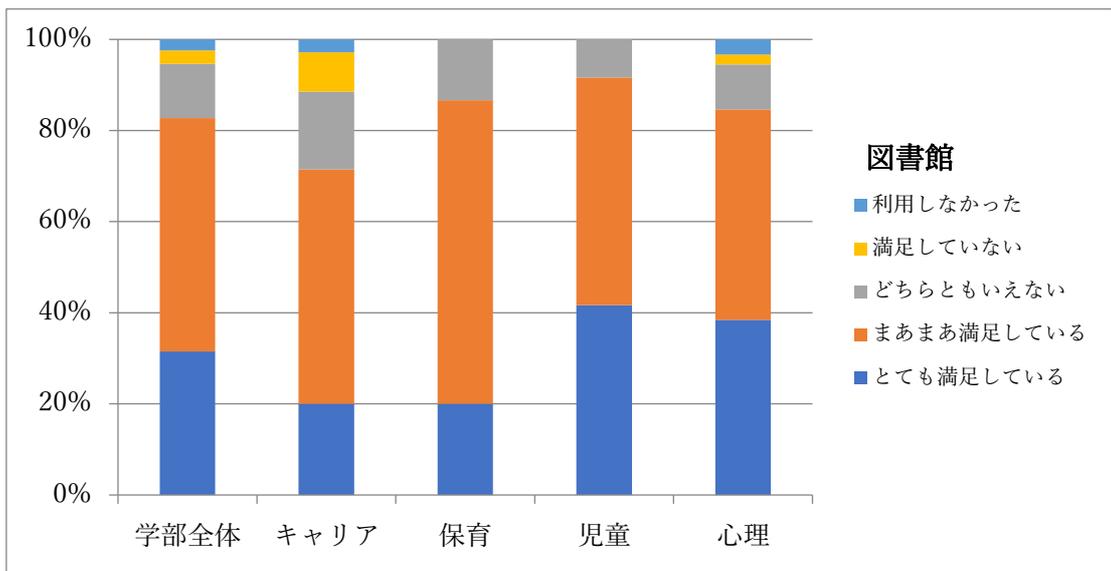


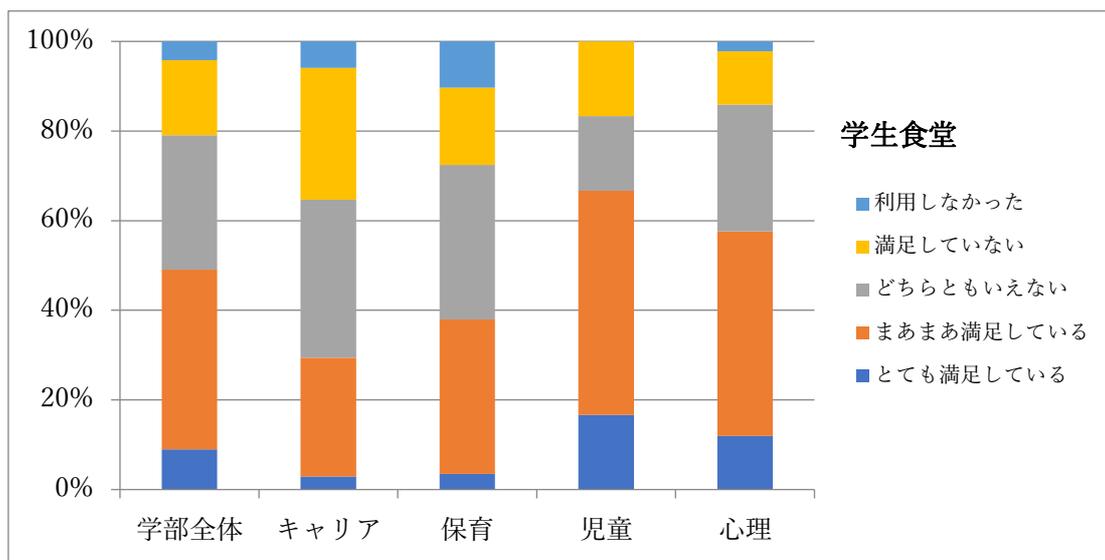
教育設備・施設への満足度

教育設備・施設（①授業で使用した教室、②体育館、③図書館、④ラーニングコモンズ、⑤部室、自治会室、⑥学生食堂）に対する満足度を尋ねた。利用があった施設では満足感

は5割を超えたが、学生食堂は「どちらともいえない」と回答する割合が多かった。また、必要だった設備・施設として「Wi-Fi」「個人用ロッカー」などがあげられた。

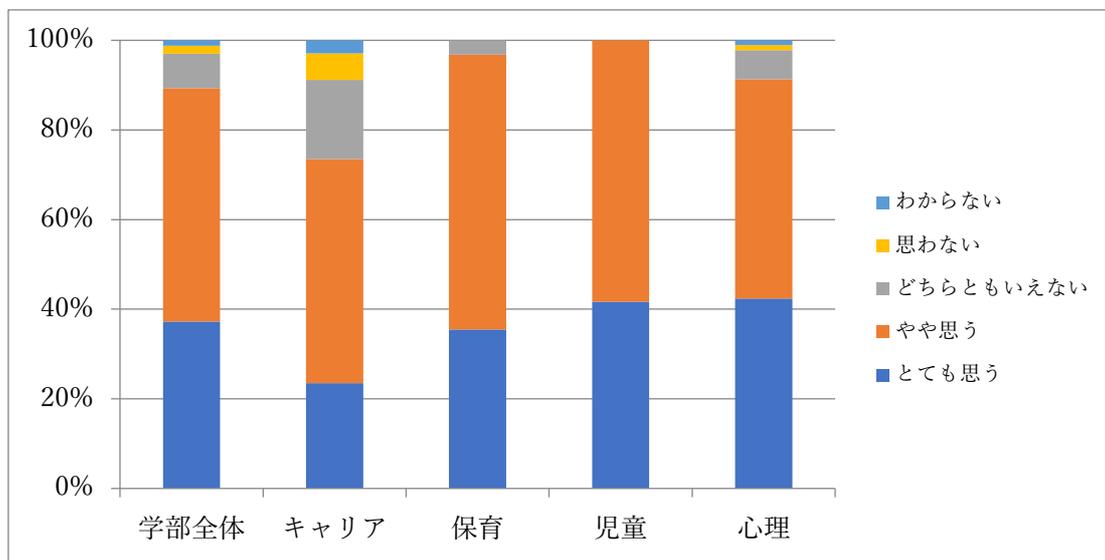






成長度

授業や大学での活動を通して学生自身がどれくらい成長したと思うかを尋ねた。9割の学生が成長を感じているが、「どちらともいえない」と回答をする学生もいた。より多くの学生が成長を感じれるよう授業や活動での達成度を測っていく必要がある。

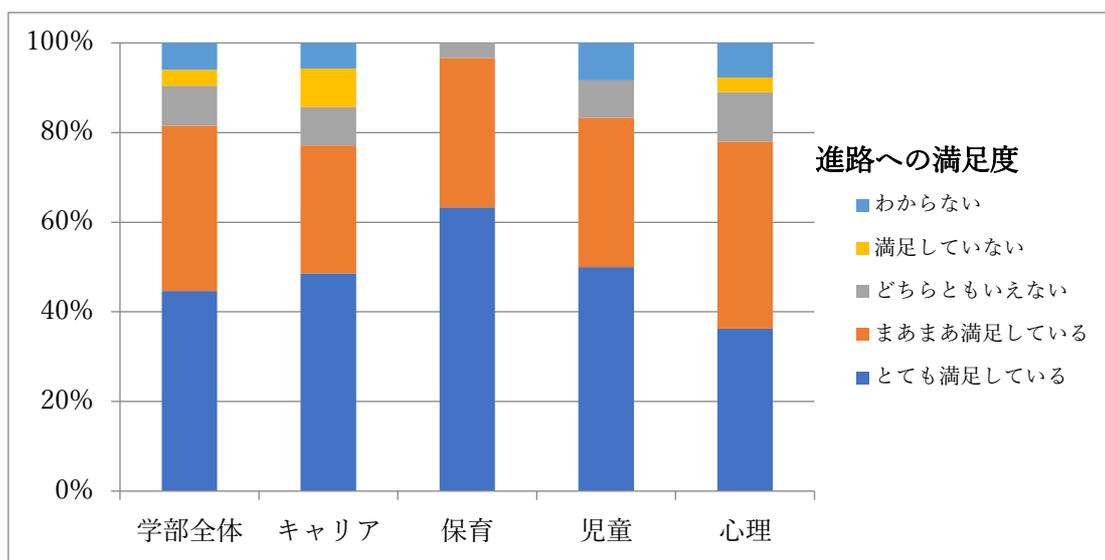
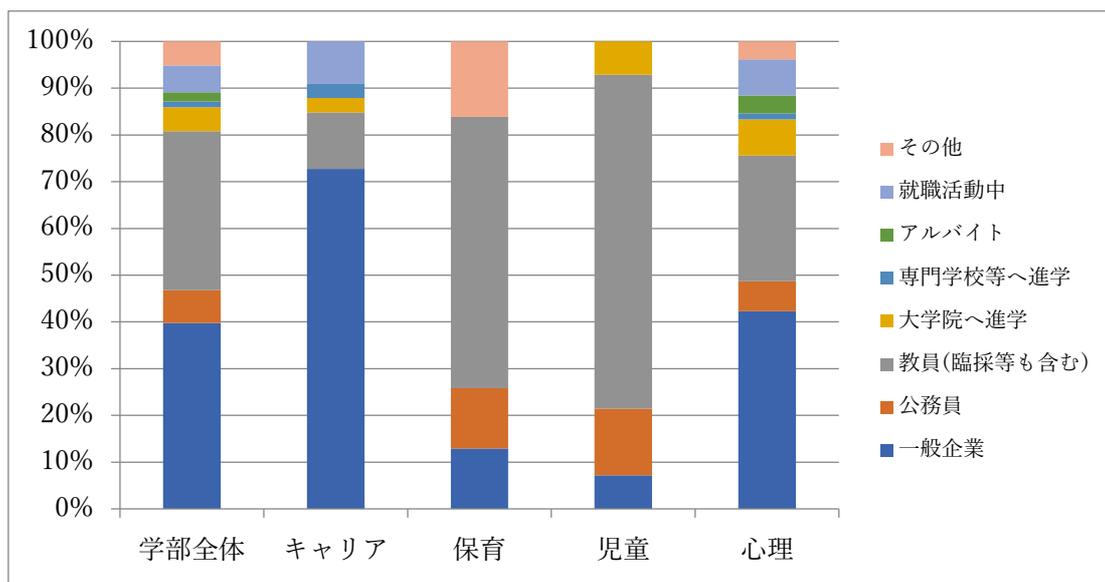


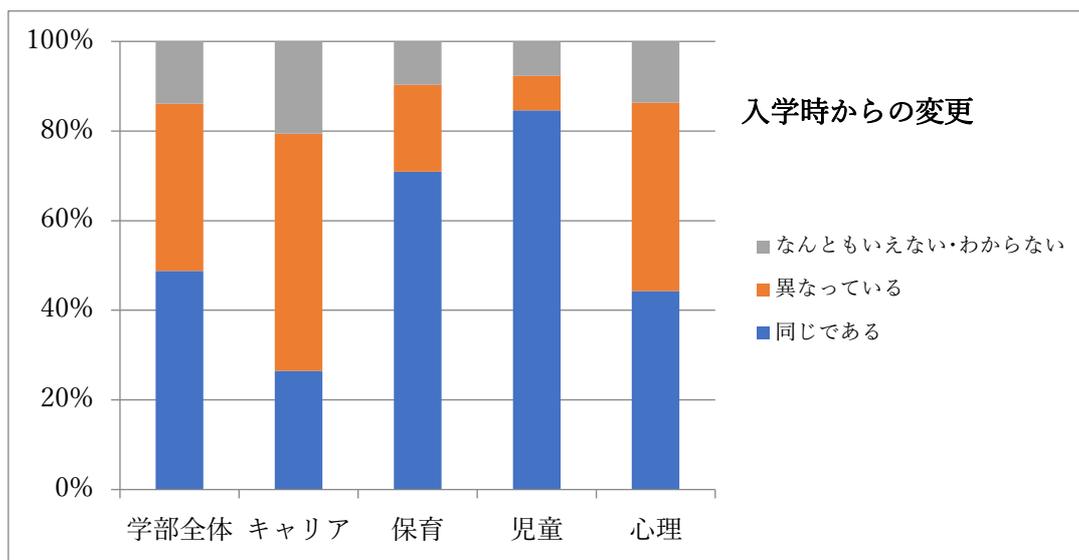
取得資格

在学中に取得した資格について、記述させた。各種教員免許状や保育士資格、精神保健福祉士、認定心理士などのほか、「TOEIC」、「秘書検定」をはじめとするビジネス系検定、「Word 文書処理技能認定試験」等のパソコンスキル向上の資格があげられた。中には、「手話検定」と回答した学生もいた。

卒業後の進路

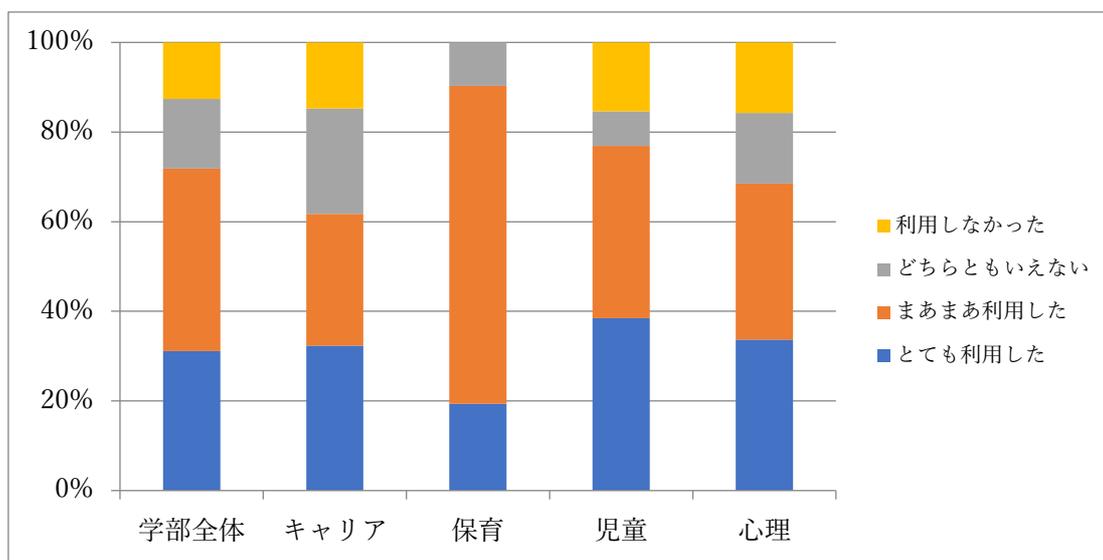
卒業後の進路について尋ね、その進路に対する満足度、そして入学時からの変更を尋ねた。その他としては「保育施設」「児童養護施設」「病院」などがあげられた。また進路への満足度は、多くの学生が満足している結果となった。入学時からの進路変更については、キャリア・イングリッシュ専攻および心理臨床学科の学生では半数以上の学生が進路変更を行っていること結果となった。

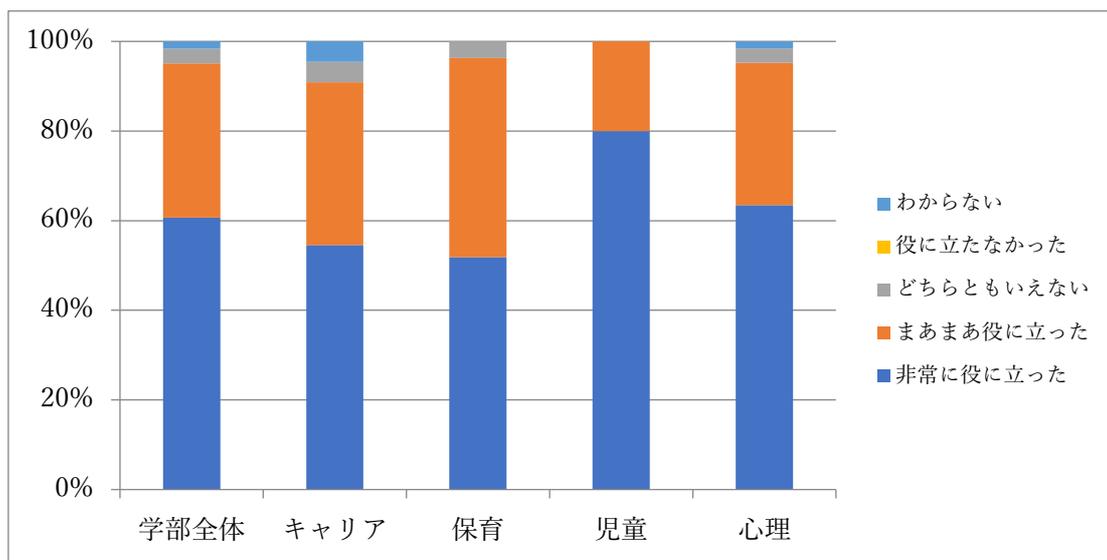




就職活動での各センター利用について

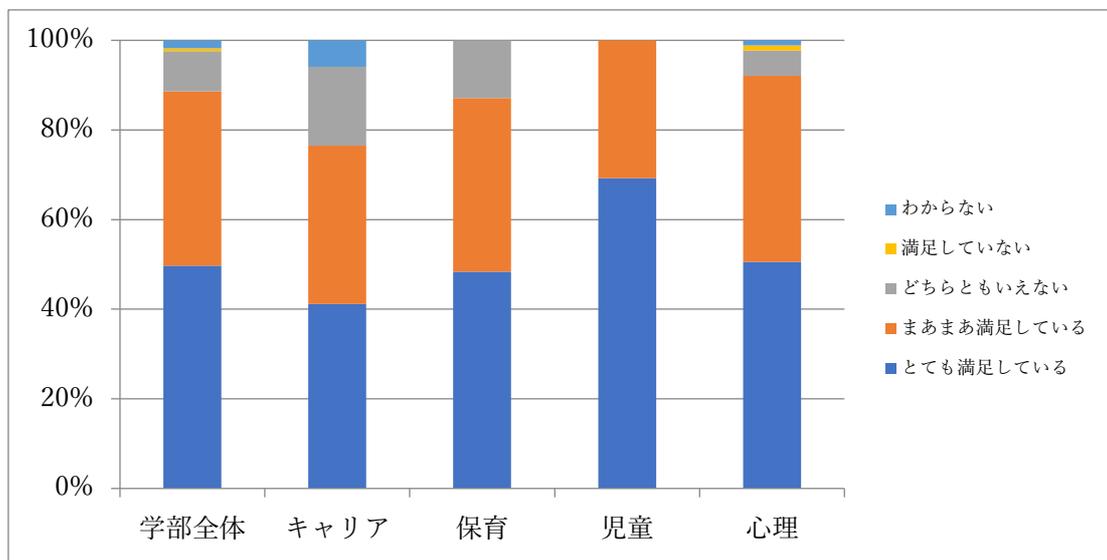
就職活動の際、各センター(学生支援センター、教職・保育支援センター)をどれくらいの頻度で利用し、対応などが役に立ったかを尋ねた。多くの学生が利用しており、役に立ったと感じる学生が多かった。





総合的な満足度

大学に対する総合的な満足度を尋ねた。多くの学生が満足しているという結果であった。ただ「どちらともいえない」「満足していない」「わからない」と回答している学生もいるため、今後学生の意見を反映しつつ教育内容を充実させる必要がある。



よい大学かどうか

学生自身に本学がよい大学だと思うかを尋ねた。多くの学生がよい学生だと回答してくれた。「どちらともいえない」「思わない」「わからない」という回答者を減らしていかなければならない。今後アンケートを継続的に実施し、結果を考察していくことで、学生自身からよい大学だと思ってもらえるような大学を目指していきたい。

